

産業遺産「阿仁鉱山」の歴史と文化を学ぶ

「阿仁鉱山フォーラム」から

日本の近代化を牽引した鉱山産業の一翼を担った「阿仁鉱山」の保存と活用について語り合うフォーラムが2月23日、市阿仁郷土文化保存伝承館で開かれ、参加者が、同鉱山の歩みを振り返りながら地域振興に結びつける方策や情報発信などについての意見を交換し合いました。

■日本三大銅山の1つだった阿仁鉱山
阿仁鉱山は、1309年に金山として開発されたことから始まり、以来、阿仁地区には小沢銅山ほか5つの銅山（「阿仁六カ山」を阿仁鉱山と総称）が開発され、1716年に



▲阿仁鉱山の歴史と文化について意見交換が行われた「阿仁鉱山フォーラム」(2月23日、阿仁郷土文化保存伝承館で)

は、当時の佐竹藩直営のもと産銅日本一を記録し、日本三大銅山として全国に名が知られました。

明治時代に入ってもその活況は続き、政府はドイツ人鉱山技師を招き入れるなどして、生産増強に力を注ぎました。その後、1885（明治18年）年に当時日本有数だった財閥の一人・古河市兵衛の経営（古河鉱業）に移りましたが、1970年（昭和45年）、資源枯渇により閉山となっていきます。

■日本近代化産業遺跡群に認定
このように、日本の産業の近代化に大きく貢献した産業、土木、交通などに関する「遺産」について経済産業省は昨年、歴史的な役割の再検証や地域活性化に役立てる狙いから、「日本近代化産業遺跡群33」とし

て全国の関係する建造物や遺跡を認定しましたが、そのなかで阿仁鉱山も尾去沢、小坂両鉱山などとともに「有数の金属供給源として貢献した遺産群」として認定されています。フォーラムは、鉱山OBらのメンバーがつくる「異人館倶楽部（代表・阿仁郷土文化保存伝承館・庄司昭館長）」が、産業遺産認定を機に、地域振興へ向けた鉱山遺跡の活用策について探ろうと企画したもので、会場となった阿仁郷土文化保存伝承館には、かつて鉱山業務に関係した人々をはじめとする市民らおよそ50人が参加しました。

■佐竹藩を支えた阿仁の銅

はじめに、古河鉱業阿仁鉱山での就労経験を有し、旧阿仁町の助役を務めた小林精一氏が鉱山の歩みについて基調講演。

このうち、徳川幕府に仕えた佐竹秋田藩の取組みについて小林氏は、「阿仁の銅は、当時の佐竹藩のドル箱的存在で院内銀山とともに藩を支えた」

「銅の産出に特に力を注いだ背景には、関ヶ原の戦いで徳川側につかなかつた佐竹氏が家康の怒りを買って常陸から秋田に移封されたものだから、その汚名返上の意味合いが大であったらしい」などと話し、徳川幕府に対しての、秋田藩と阿仁銅山の犠牲と貢献は大変なものであった事を強調

していました。このほか、明治維新後は国の直営下、富国強兵策での産業近代化による鉱山開発のために外国人技術者を招き入れたことで、阿仁の地がいち早く西洋文化を取り入れ華やいた産業文化を享受できたことや、昭和の時代は、日中戦争や朝鮮戦争などによる軍事特需で活況しつつも、資源枯渇のために、ついには閉山に追い込まれた鉱山の歩みなどについての分かりやすい説明に、参加者たちは興味深めに聴き入っていました。

■鉱山の歴史にまつわる文化遺産も

また、「鉱山の歴史と出」鉱山が生んだ文化財などをテーマにパネルディスカッションも行われ、この中で、鉱山で栄えた町の歴史では特に、全国からの技術者や労働者の出入が多かったことから宗派の異なる寺院が5つも存在し、大小の神社も60を超えて祀られていることなど、その文化的価値が各方面から注目されてきたことが述べられました。

なお、同倶楽部では、ボランティア活動として、または学習活動としての参加者を広く募集しております。阿仁鉱山の歴史と貴重な生活文化に興味、関心をお持ちの方は、お気軽に左記までお問合わせください。

■異人館倶楽部事務局
☎ 82-2600

読書感想文・読書感想画コンクール

平成19年度北秋田市読書感想文・読書感想画コンクールの表彰式が2月23日、市文化会館で開催され、特選、入選、佳作の各入賞者が表彰を受けました。今年度の読書感想文部門には小学校・中学校・一般から116点、感想画部門には幼稚園・保育園及び小学校1・2年生から426点の応募がありました。



コンクールは、読書を通じ、豊かな人間性を育むことを目的としているもので、感想文部門と感想画部門が設けられています。表彰式では読書感想画、読書感想文それぞれの部門ごとに入賞者がステージに上がり、三澤仁教育長から表彰状を受け取りました。



表彰を受け、賞状を会場に紹介する入賞者のみなさん(写真は読書感想画の幼稚園・保育園の部)

「読書を楽しみ、心の豊かな人に」(亀山恵子感想文部門審査員長)

続いて、審査結果の講評が行われ、感想文部門では、亀山恵子審査員長(森吉中学校校長)が「普段からこ

りした文章をかける。読書を楽しみ、心の豊かな人になりましょう」と、アドバイスを送り、絵画部門では、佐々木久隆審査員(阿仁合小学校長)が特選を受賞した作品を投影機で上映しながら説明し、綴子小学校2年の工藤夕奈さんの作品「クヌートの本の当のしあわせ」には、「水色の色画用紙に親子のシロクマを白いクレヨンで描き、毛並みも本物のシロクマのように。シロクマ一家が幸せに暮らしているようすがよく表現されている」と、講評していました。

特選及び入選者の皆さん 読書感想文コンクール入賞者

■小学校【3年生】特選・佐藤真凛(鷹巣小学校)／入選・三澤瑚子(綴子小学校)／入選・加藤俊文(合川南小学校)【4年生】特選・津谷雄貴(鷹巣小学校)／入選・齋藤真慶(綴子小学校)／入選・

清原璃利帆(合川北小学校)【5年生】特選・松尾樹(鷹巣小学校)／入選・渡部翔(鷹巣中央小学校)／入選・高屋夏希(米内沢小学校)【6年生】特選・齋藤巧美(前田小学校)／入選・北林拓朗(鷹巣小学校)／入選・千葉颯都(鷹巣南小学校)

■中学校【1年生】特選・柏木聡子(森吉中学校)／入選・小笠原麻友(鷹巣中学校)／入選・高橋佳那子(鷹巣中学校)【2年生】入選・畠山淑花(鷹巣南中学校)／入選・佐藤美知代(鷹巣南中学校)【3年生】入選・村上千春(鷹巣南中学校)

■小学校【1年生】特選・梅原琢也(竜森小学校)／特選・高橋由芽(合川東小学校)／入選・戸澤香穂(鷹巣西小学校)／入選・佐藤亜星(鷹巣小学校)／入選・西根史翔(鷹巣小学校)／入選・河田亜依(鷹巣小学校)／入選・佐藤雅(鷹巣南小学校)／入選・山下梨沙(浦田小学校)【2年生】特選・工藤夕奈(綴子小学校)／特選・庄司丞(前田小学校)／入選・畠山校(鷹巣小学校)入選・吉田勇人(鷹巣中央小学校)／入選・佐藤宗一朗(合川東小学校)／入選・土濃塚悠成(合川南小学校)